

目標達成計画

作成日: 平成 22 年 4 月 13 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	4	地域の情報等、外部の情報を運営会議に取り入れグループホームの入居者限られた地域で自分らしく生活できるように会議の参加者を広げたい	町内行事に参加を試みる。	町内会にグループホームについて説明し、理解をして頂くことから始めたいと思います。	1年
2	33	重度化や終末期を迎えた利用者を夜勤帯で十分な介護が可能なのか。職員の個人差のある中適切な支援、対応が可能であるか。上手くラインがつけられるのか。	出来る限り看取りに近づける。	看護師を補充し、医療体制を実施し、重度化に対応するよう取り組みを行っている。重度化について家族、職員等でグループホームでの可能な対応について検討して行きたいと考えます。	3~4カ月
3	29	地域資源の活用について 医療と福祉のゾーンの為、GHの付近の地域資源に限りがある。	地域との関わりを深めていく。	地域資源の図書館、レストランを利用しているが、もっと周辺資源について検討を重ねて行きたいと考えます。	ヶ月
4	36	住居者一人ひとりの人権尊重を再度認識していきたい。	再度個人のプライバシーについて考える。	則員一人ひとりの利用者に対する言葉かけを再度研修していきたい。	ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。